

特記仕様書

第一章 総則

1 一般事項

- 特記事項及び図面に記載されていない事項は、すべて「空調調・衛生設備工事標準仕様書 (SHASE-S010)」及び建築設備技術者協会「空調調・給排水設備施工標準」による。
- 工器用機器に付いてはメーカーリストに基づき選定し管理者の承諾を得た後発注制作するが、やむを得ず指定製作所以外のものを使用する場合は同等以上の性能を有するものとし、係員の承認を得ること。
- 図面及び仕様書に明記の無い場合でも体裁上および機能上当然必要となるものについて、工事請負金額内で施工者にて取付または施工を行うこと。
- 施工にあたっては、事前に施工図を提出し監理者の承認を得てから施工すると同時に関係法令を遵守して行うこと。
- 工事の一部が協力業者によって納入又は施工される場合その納入品又は施工は必ず本工事請負業者が先ずこれを検査し合格と認められた後に初めて係員の検査を受ける。
- 施工時に機器類設置位置および配管・ダクト材質及びルートの変更を行った場合は実際の材質、配管長、ダクト長にて機器能力が仕様通り確保出来るかの検証を施工者にて行い、能力が仕様通り確保できることを確認した上で工事請負金額内で施工を行うこと。

第二章 工事概要

1 建築概要

- 工事名称 (仮称) あそか病院リニューアルプロジェクト(第2期外来棟4F、接続棟3F) 機械設備工事
- 工事場所 東京都江東区住吉1-18-1
- 建築規模 SRC造、地上5階、敷地面積 12,703.40㎡
改修面積〈外来棟〉3階14.59㎡(天井改修) 4階223.86㎡(改修工事)
〈接続棟〉3階142.08㎡(改修工事)
〈病院棟〉3階26.33㎡(天井改修)
- 建物用途 建築基準法：病院、消防法：(6) 項イ
- 工期 〈外来棟〉平成29年8月初～9月末
〈接続棟〉平成29年10月中旬～12月末

2 設備概要

- 外来棟4階健診センター整備に伴う機械設備改修工事を行う。
- 接続棟3階回復期病床確保に伴う機械設備改修工事を行う。
- 外来棟4階男子・女子トイレリニューアル工事を行う。

3 設備項目

	項目	方式
1	給水設備工事	高架水槽方式(既存管から分岐)
2	給湯設備工事	局所給湯方式(電気温水器新設)
3	衛生器具設備工事	節水型(衛生陶器の色は建築指示)
4	排水通気設備工事	重力排水+ルーフ通気方式(既存管に接続)
5	消火設備工事	外来棟：屋内消火栓(既存) 接続棟：スプリンクラー設備(既存管から分岐)
6	換気設備工事	第1種+第3種機械換気併用方式(新設)
7	空調調設備工事	FCU方式(既存管から分岐) PAC方式(EHP新設)
8	医療ガス設備工事	酸素、N ₂ 方式(既存管から分岐)

4 工事区分

- | | |
|----------------------------|--------|
| (1) 本工事に伴う躯体開口部の補強工事及び点検口 | (建築工事) |
| (2) 機器類のコンクリート基礎及びモルタル仕上工事 | (建築工事) |
| (3) 流し台、吊戸棚等の搬入据付工事 | (建築工事) |
| (4) 洗面カウンター、化粧鏡等搬入据付工事 | (建築工事) |
| (5) 天井開口及び補強工事 | (電気工事) |
| (6) 機器類の制御盤等までの一次側電気工事 | (電気工事) |
| (7) その他は、図示特記による | |

5 保温・塗装 (給水・給湯・排水・ドレーン・冷媒)

	屋内露出	屋内隠蔽	床下	ピット	屋外露出	土中
仕様	1 保温材	1 保温材	1 保温材	1 保温材	1 保温材	1 保温材
	2 鉄線	2 鉄線	2 鉄線	2 鉄線	2 鉄線	2 鉄線
	3 原紙	3 7mmガラスクロス	3 ホリゾンフィルム	3 ホリゾンフィルム	3 ホリゾンフィルム	3 防水麻布
	4 綿布		4 着色7mmガラスクロス	4 防水麻布	4 鉄線	4 7mmアールジョイント
	5 塗装			5 アスファルトプライマー	5 ステンレス鋼板	

- (1) 保温材 土中：フォームレス保温材(3号)
土中以外：グラスウール保温筒、ロックウール保温筒

※住戸内通気は結露のおそれのある部分については保温を行う。
※保温遮音等のグラスウールは24k以上のものとする。

(2) 保温厚(給排水)

管径(A)	20	25	32	40	50	65	80	100	125
厚(mm)	20	20	20	20	20	25	25	25	25

※換気用ダクト(給気すべて、排気外壁より1mの範囲)：グラスウール(24k)20mm

※空調サブライダクト：グラスウール(24k)20mm

(3) 遮音

※配管の内、病室天井を通る部分については遮音シート巻きとする。排水管については、防音型耐火二層管(30kg/㎡相当)とする。ただし、既存の仕様を優先とする。

6 耐震措置

設備機器の固定等は、全て「国土交通省住宅局監修の建築設備耐震設計・施工指針1997年版」により行う。ただし、設計用地震力(水平及び鉛直)は次の設計用水平地震力K5H(下表)、固定の機器/防振支持の機器/水槽類)及び設計用鉛直地震力K5V(K5H/2)を用いて計算する。設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。但し、既存の仕様を優先とする。

・特定の施設におけるK5H

設置場所	1階の床以下	1階の天井～階の床	階の天井以上
重要機器	1.0/1.0/1.5	1.5/1.5/1.5	2.0/2.0/2.0
重要以外	0.6/1.0/1.0	1.0/1.5/1.0	1.5/2.0/1.5

・一般の施設におけるK5H

設置場所	1階の床以下	1階の天井～階の床	階の天井以上
重要機器	0.6/1.0/1.0	1.0/1.5/1.0	1.5/2.0/1.5
重要以外	0.4/0.6/0.6	0.6/1.0/0.6	1.0/1.5/1.0

重要機器は次のものを示す。

- 給水装置
- 排水装置
- 換気機器
- 空調機器
- 熱源機器
- 防災設備
- 監視制御設備・危険物貯蔵装置・火を使用する設備
- 避難経路上に設置する機器

7 地中埋設配管

- 地中埋設標 要(図示の箇所) ◎不要
- 埋設表示用テープ 要(排水管を除く) ◎不要

8 空調調設備

(1) 設計用温度

	外気		屋内(参考値)					
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	35.0℃	%	27.0℃	成り行き	℃	%	℃	%
冬期	0.2℃	%	22.0℃	成り行き	℃	%	℃	%

(2) ダクト

◎低圧ダクト(コーナーボルト工法(長辺の長さが1500mm以下の部分)・アングルフランジ工法

◎スパイラルダクト・オーバルダクト)とする。

・高圧1ダクト(着用範囲は図示による。) ・グラスウールダクト

(3) 風量測定口

- 取付箇所は図示による
- 送風機吐出又は吸込ダクト
- 外気取り入れダクト
- 空調機吹出チャンパの分岐ダクト

(4) チャンバー

- 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
- 空調調機、温風暖房機に取り付けるサブライチャンバー、ルーフチャンバー及び風道系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設ける。
- ガラリに直接取り付けするチャンパー類は雨水の滞留のないように施工する。

第三章 注意事項

1 共通事項

- ポンプ、送風機等回転機と接続する配管、ダクトの接続部分には、防振継手、たわみ継手を用いると共に、躯体に配管を固定する場合には防振材を介すること。
- 屋外及び多湿箇所に設置するアンカーボルト、吊りボルト、チャンネルベースはステンレス製とする。
- 機器等の配管にはその重量が加わらぬ様に接続口近くで支持し必要に応じてフレキシブルカップリング等を介して接続する。
- 工事中は写真撮影(埋設、見掛り、主要部等)をし、工完了時に提出すること。国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方 建築設備編」による。
- 工完了までの水道、電気、ガス等の基本料金、使用料金は、請負業者の負担とする。
- 弁類は口径 50A以上は鑄鉄製ボール弁、他は青銅製の材質で耐圧は水道直結部は JIS 1 MPa 他は JIS 500 KPa 以上とする。

2 試運転調整

各機器の運転調整は工場またはこれに代わる試験場で負荷運転をし、温度、圧力、流量等の設定仮封印をし、この各種負荷における明細を試験成績表として提出する。現場での試験運転調整は機器間の部分調整が徐々に実施し総合資料を得てから全体調整計画を立案して、電気部門等と協力して随時全体調整を完了させて、そのデータを取扱説明書と共に提出する。

総合調整

本工事(調整項目は下記のものとし、調整・測定結果を監理者へ提出する。)

- 空調換気風量調整・測定
- 水量調整
- 室内外空気の温湿度の連続測定
- 吹出吸込温度の測定(全居室)
- 初期運転状態の記録
- 室内気流及びびんあいの測定

3 提出書類等

工事完成時には下記のもの提出する。

- | | |
|----------------------|----|
| (1) 各所官庁届書 | 1部 |
| (2) 施工図(白焼製本)・CADデータ | 1部 |
| (3) 竣工図(白焼製本)・CADデータ | 3部 |
| (4) 工事写真(アルバム) | 2部 |
| (5) 機器説明書、保証書、取扱説明書 | 3部 |

4 保証

工事引渡後に工事不完全または材料の不良により故障または破損を起した場合は工事者は速やかに無償で修理または交換することとし、この期間を5年とし、その他各種トラブルに付いての無償保証期間は1年とする。

5 その他

施工にあたっては建築図を十分に理解してから実施すること。工事前には現地調査を十分に行い設計図と異なる事項においては監理者、係員と打合せを行い承認を得ること。

メーカーリスト

◎印はメーカー指定

製品	製造業者	製品	製造業者	
配管材料	JIS認定品	保温材	JIS認定品	
衛生器具	TOTO	空調機器	三菱電機	
	LIXIL		ダイキン工業	
	GROHE		木村工機	
	三菱水栓		新晃工業	
排水金物	伊藤鉄工	換気扇	東芝キヤワ	
	第一機材		三菱電機	
	長谷川鑄工		パナソニック	
	日本仕ミツ		ダイキン工業	
給湯器	TOTO	送風機	テラル	
	LIXIL		荏原製作所	
			空研工業	
			西邦工業	
消火設備	能美防災	制気口	新晃工業	
	ヤマブシロテック		テラル	
		ポンプ	荏原製作所	
			川本ポンプ	

ZO CONSULTING ENGINEERS

株式会社AIDAHO一級建築士事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録 第58365号 澤田淳 一級建築士登録 番号 第327414号
TEL 03-6712-2919 FAX03-6712-2917 info@aidaho.jp http://aidaho.jp/
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-14-13 碑文谷グレースビル203

PROJECT NAME

(仮称)あそか病院リニューアルプロジェクト(第2期 外来棟4F、接続棟3F)

DRAWN BY

R.YAEGASHI

MEMO

CHECK

担当

担当

TYPE

機械設備 特記仕様書

DATE

2017.05.15

SCALE

A1:N.S.
A3:N.S.

NUMBER

M-01